



2018-2019年度 主題

国際会長 : Sangbong Moon "Yes, We Can Change"  
 「私たちは変えられる」  
 アジア太平洋地域会長 : "Courage to Challenges"  
 田中 博之 「挑戦への勇氣」  
 東日本区理事 : 宮内 友弥 「為せば、成る」  
 湘南・沖縄部長 : 佐藤 節子 "No challenge, No fruit."  
 「心を元気に 絆を深め合える  
 ワイズを目指そう！」  
 クラブ会長 : 岡田 勝美 「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」



速報:「横浜つるみクラブ」チャーターナイト開催

東日本区湘南・沖縄部をスポンサーとして設立準備が進められてきた新クラブ「横浜つるみクラブ」(久保勝昭会長)のチャーターナイトが6月16日(日)16:00より、横浜市鶴見中央地域ケアプラザにて開催されました。

チャーターナイトには、新クラブ設立に参画した湘南・沖縄部所属各クラブを含む東日本区の30のクラブからメンバーたちがお祝いに駆けつけて下さったほか、12名にのぼる横浜YMCAのスタッフにも参加していただき、新クラブの門出にふさわしい、総勢92名の皆さんの祝福に包まれた素晴らしいひと時となりました。

午後4時、久保勝昭新会長の開会点鐘に引き続き、新クラブメンバーのピアノ伴奏に合わせワイズソングが高らかに歌われ、次いでワイズの信条が力強く唱和されました。スポンサーの湘南・沖縄部佐藤節子部長の挨拶、来賓の紹介に次いで、今回中心的役割を果たした、辻剛部エグゼクティブ委員長、久保勝昭設立準備委員長(共につづきクラブ)より新クラブ設立経過の報告がなされました。

次いで、新クラブメンバーの入会式と国際協会加盟認証状伝達式が執り行われました。入会式では、宮内友弥東日本区理事の呼びかけに対し、新クラブメンバー全員が右手を上げ、力強く「はい」と答え、入会が厳かに宣言され、引き続いての加盟認証状伝達式では、国際協会を代表して田中博之アジア太平洋地域会長により、国際協会よりの認証状が滞りなく伝達されました。

その後、久保会長より新クラブスタートに際しての決意表明ならびに、ウィットに富んだ新クラブ会員9名の紹介が行われました。新クラブは、会長、担当主事を除く7名が女性というのが特徴で、女性らしい優しさと細やかさにあふれたクラブ運営が期待できます。

メンバー紹介に引き続いて、横浜YMCA工藤誠一理事長、同田口努総主事(代読)、東日本区EMC主任伊丹一之ワイズより、それぞれ心温まる祝辞をいただいた後、東日本区並びに湘南・沖縄部より記念品が贈呈され、久保会長の閉会点鐘で閉会しました。

記念写真撮影、休憩の後、祝会が行われました。湘南・沖縄部一のワイズ歴を有する加藤利榮ワイズのご発声で乾杯し、心のこもった食事を頂きながら、数々のお祝辞やアピール、新クラブメンバーによる音楽演奏などの楽しいひと時がもたれました。祝会の様子並びに写真などは次号に掲載する予定です。(編集子)





**今月の聖句**

「神は言われる。  
終わりの時に、わたしの霊を  
すべての人に注ぐ。  
すると、あなたたちの息子と  
娘は預言し、若者は幻を見、  
老人は夢を見る。  
わたしの僕やはしたためにも、  
そのときには、  
わたしの霊を注ぐ。  
すると、彼らは預言する。」  
使徒言行録2：17-18

**6月の本例会**

日時：6月28日(金) 18:30～  
場所：かけはし都筑  
司会：岡田M 受付：岡田K

《プログラム》

- 1)開会点鐘 会長
- 2)ワイズリング・ワイズの信条 一同
- 3)今月の聖句・祈禱 相賀ワイズ
- 4)会長挨拶 会長
- 5)ゲスト・ビジター紹介
- 6)報告 つるみクラブチャー  
ターナイトについて 辻Ts
- 7)卓話 鈴木茂ワイズ  
演題：YMCAにおける  
エキュメニズム
- 8)YMCA報告
- 9)Happy Birthday  
横田孝久ワイズ (6/10)
- 10)スマイル
- 11)その他 (もしあれば)

※懇親会食会 @ガブリエル



(5月のデータ)

例会出席	19名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	12名	月刊出席数	12名	使用済み切手	0	0
ビジター	7名	メーキャップ	1名	スマイル	0円	112,646円
ゲスト		月刊出席率	76%			

**2019年5月つづきクラブ設立記念本例会  
横浜クラブ/横浜つるみクラブ合同一泊合同研修会**

報告 辻 剛

今年の富士山YMCA・GEVにおける本例会は色々な意味で普段にも増して意義深いものになりました。つづきクラブにとっては、毎年のごとですが、5月の本例会はクラブ設立記念例会と位置付けています。(2006年5月13日設立)。今年は13周年にあたります。

また、今年は横浜クラブと横浜つるみクラブ(仮)が参加してくれたので3クラブによる合同例会という形になりました。横浜クラブは毎年5月に研修会を開催していますが、それに代えて今年は「横浜つづき/横浜クラブ一泊合同研修会」と位置付けていたところ、当クラブの久保勝昭ワイズが会長になる「つるみクラブ」から書記の久米康子さん、会計の中村純子さんが参加をしてくれました。まだクラブ誕生前にも拘わらず彼女たちは他クラブの例会・チャーターナイト、YMCA会員大会・総会、東日本区大会への出席などそのエネルギーな行動力は驚嘆に値します。

6月16日のチャーターナイトを目前にした誕生直前のつるみクラブ、ようやく中学生になったばかりのつづきクラブそして来年には90周年を迎える“歴史と伝統”の横浜クラブがジェネレーションギャップを感じさせない交流ができたのは素晴らしいことでした。

しかも、参加してくれた二つのクラブは「つづきクラブ」生い立ちと深い関係にあります。横浜クラブはつづきクラブの3つのスポンサークラブの一つであり、久保さんはこれもスポンサークラブだった横浜ノースクラブのメンバーであったうえに、つづきクラブ設立準備委員会委員長でした。当クラブの設立記念例会に最もふさわしい皆さんが参加してくださった訳です。

以下、プログラム内容について概略のご報告をいたします。

日時：2019年(令和元年) 5/24日(金) 集合13:00 ~5/25(土)  
会場：富士山Y M C A グローバル・エコ・ヴィレッジ

出席者(敬称略)：

つづきクラブ：今城高之、今城宏子、岡崎さよ子、岡田勝美、  
岡田美和、久保勝昭、鈴木恭子、鈴木 茂、辻 剛、  
山中奈子、横田孝久

横浜クラブ：金子 功、古賀健一郎、遠藤喜七、古田和彦、齋藤宙也  
横浜つるみ：(久保勝昭) 久米康子、中村純子 (次頁へ)



<一日目：5/24>

**第一部 (13:30~15:00) : 本例会 (司会：久保勝昭 受付：辻 剛 会計：鈴木恭子)**

・開会点鐘 (岡田勝美会長)、ワイズソング・ワイズの信条、今月の聖句・祈祷 (鈴木 茂)、会長挨拶 (岡田勝美)、参加者紹介。

**村田彰宏所長のお話「富士山 Y M C A グローバル・エコ・ヴィレッジの現況」**

2018年の宿泊延利用者数は12,530人で過去最高の利用者となった。利用者の内訳は、①企業研修 (前田建設 / 70名 / 6泊7日、鹿島道路 / 25名 / 7泊8日)、②ロケ (おむすびコロリン)、③ゆるきゃん (T Vアニメ)、④地元の人、⑤ブルーグラスコンサート、⑥東海大学野外実習 (140名 / 4泊5日)、⑦結婚式 (含2次会 / 10組)、⑧東日本大震災復興支援、⑨周年事業など、であった。

**金子 功ワイズのお話「横浜クラブの歴史」**

金子ワイズから以下のトピックスについて報告があった。①YMCAの成立、②ワイズメンズクラブの成立および日本への伝搬、③横浜クラブ活動実績および湘南・沖縄部の成立、④横浜クラブの歴史にまつわるエピソードなど。

**3クラブ合同話合い「私とワイズ・入って良かったこと・今思っていること」 (進行担当：岡田勝美)**

出席者全員から一言ずつテーマに沿った内容のご披露があったが、スペースの都合上省略させていただきます。

・Happy Birthday (5/11: 岡崎さよ子、5/19: 齋藤宙也、5/21: 鈴木 茂)。

・閉会点鐘 古田和彦会長

**第二部： B B Q (進行：辻) 15:30~20:00**

1. B B Q 準備・たけのこ採り 15:30~17:00

2. B B Q 17:00~19:30

3. 後片付け 19:30~20:00

食事・テーブル等の準備組と“破竹”採りに分れました。竹の子は相当ご苦労したようですが、結果としては十分な収穫がありました。準備組はテーブルセッティング、BBQの火おこし等々。肉は例年の如く地元富士宮の有名肉店「さの萬」(佐野佳治社長 / 富士宮クラブ) で調達した極上もの、海鮮類、富士宮焼きそば、等々。チーフ焼き奉行は今城高之ワイズ、アシスタント辻で最高の焼き加減で提供できたものと思われます。食卓ではビール、ワインを飲みながら、会話が弾み、途中から山中奈子・北 Y 館長、横浜クラブ・齋藤宙也ワイズも加わり B B Q パーティーは大成功でした。ほぼ予定時間に終了し、全員で後片付けをして第3部の会場に移動しました。

**第三部： 懇親会“歌舞音曲タイム” (進行：今城高之、久保勝昭) 20:00~**

第3部は企画としては「カラオケ広場」でした。当然、その中心は「カラオケ・セット」になる筈でしたが、ダダをこねて機械がカラ回りし、久保さんと中村さんが悪戦苦闘しながら調整につとめていましたが、カラつきし働きませんでした。カラくも金子さん、遠藤さん、今城さんの機転で場をつないでいただきなんとかカラ元気を出すことができました。結果として皆さんそれなりにエンジョイされたと思っています。

<二日目：5/25>

**5/25 (土) 7:30~7:45 早天黙想会 (グリーンチャペル)**

司会 / 鈴木茂ワイズ、横浜クラブの古田会長の感話。早朝からかなり強い朝日を背中に浴びながら黙想のひと時をもちました。(聖書：マタイ4:1-4、讃美歌301)。古田ワイズがこれまでのご自分の人生を振り返りながら「ひとはパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」ことを説かれた。) (早天黙想会)



(開会時の参加者。後刻2名が加わる)



(早天黙想会)

8:00~朝食会場に戻り、清々しい気持ちの中で富士山を眺めながら朝食。

9:00過ぎには三々五々に帰途につきました。ほとんどの参加者は午後の横浜YMCA会員総会に出席しました。皆さん、来年もまたお会いしましょう。 以上



## 6月事務例会報告

日時：6月11日(火) 18:00~20:00

会場：田園都筑教会

出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、  
(12名) 胡麻尻、鈴木K・S、辻Tsu、福島、横田

会長による開会点鐘の後、議事に入った。

### I. 協議連絡事項

- ①5月富士山例会の反省と会計報告(別紙参照)
- ②横浜YMCA会員総会(5/25)報告
- ③第22回東日本区大会報告  
6/1(土)~6/2(日) 代々木オリンピックセンター  
(主な事項)  
・次期理事(2019-2020) 山田敏明(十勝)  
・監事(2019-2021) 辻 剛(横浜つづき)  
・行事予定：湘南・沖縄部大会@沖縄  
2020.2.22  
・第23回東日本区大会 2020.6.6(十勝)  
・会員数推移：17.7.1 886名 61クラブ  
19.1.1 866名 59クラブ  
・表彰：つづきクラブ関係受賞  
◇全献金達成クラブ(24クラブ)  
◇BF使用済切手収集協力賞  
◇クラブ紹介パンフレット作成賞  
◇EMC特別賞(湘南・沖縄部、部エクステンション委員会)
- ④つづきクラブ会員異動  
久保勝昭：つるみクラブへ転出  
辻 孝子：次期より功労会員(申請中)  
相賀昇：次期より正会員
- ⑤6/4(火) Y-Y's協議会の報告

- YMCA語学学の留学生支援体制の現状と今後の課題につき、YMCA職員(関内校)より説明があった。加えて、ワイズの支援を期待する項目として；
- ・企業等によるインターンシップの受け入れ先
  - ・ゲストスピーカー、チューターとして協力(学生たちの話し相手として)
  - ・重要な課題であるが、クラブの活動として実施するには時間をかけての検討を要するため、個人とし協力できることがあれば参画する。
  - ⑥6/15(土) 部評議会の出席者確認：今城T、鈴木S、辻Tsuが参加予定
  - ⑦6月本例会の卓話について：鈴木 茂ワイズの卓話「YMCAにおけるエキュメニズム」
  - ⑧久保ワイズがつるみクラブへ転出するため、13年間続けてきた北YMCAのうたの広場から外れることとなった。これまで、当クラブ活動の一環として行ってきたことから、クラブとしての方針を検討する。
  - ⑨区大会、国際大会、東日本被災地支援などCS活動)へのつづきクラブの参加者が少ないことへの問題提起があり、今後、参加費用支援のためのファンドレイジング等、参加し易くする方法を検討する。
  - ⑩善意銀行(31年度1回分)の支援金申請を行うこととなり鈴木Sが担当(6/19締切)
  - ⑪行事予定(別掲)
- ◇ 閉会点鐘 岡田勝美会長
  - ◇ 閉会後は中華料理「一心」にて懇親会をしました。(岡田美和 記)

当面の行事予定			
日程	内容	場所	参加者
6/15	部評議会	中央Y	鈴木S、辻Tsu、今城T、久保(つるみ)
6/16	横浜つるみクラブ チャーターナイト	鶴見中央ケアプラザ	辻、鈴木(2)、今城(2)、岡田(2)、岡崎、胡麻尻 横田、山中、山添
6/19	TKBお仕事会	みんなの家	TKBメンバー
6/28	クラブ本例会	かけはし都筑	
6/29	社協災ボラ定例会	かけはし都筑	横田
7/17	社協ボランティア会議	かけはし都筑	岡崎
7/19-21	アジア太平洋地域大会	仙台国際センター	鈴木S、辻Tsu。(久保)
7/27	#1部評議会	横浜中央Y	

**「東日本区2018-2019年度第4回役員会」**

**出席報告**

日程 : 2019年5月31日 (金) 15:15~16:20  
 会場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター  
 出席者 : 26名 (つづきクラブから辻Ts、鈴木S)  
 議決権者 : 16名中15名

年次代議員会及び東日本区大会を翌日に控えたさる5月31日、2018-2019年度最後の第4回区役員会が区大会と同じ会場の「オリセン」センター棟401号室で開催され、私は区監事として出席した。議事は、理事報告、各部長・事業主任・常置委員会委員長等の報告を経て、宮内友弥(理事)議長のもと議案審議に入った。

第1号議案「第3回役員会議事録承認の件」、第2号議案「2018-2019年度 東日本区年次報告及び行政監査報告の件」、第3号議案「YES活動支援金支給制度見直しの件」、第4号議案「郵便による臨時代議員会実施の件」の4議案はすべて、議決権者の多数により無事承認された。このうち、第3号議案の「YES活動支援金支給制度」はエクステンション活動支援のため、YES基金から1新設クラブあたり原則10万円を設立委員会発足時等に半額、設立総会時に半額を支給する制度として、2014-2015年度第1回役員会で承認されたものであった。先般の国際憲法の改定により、新設クラブの最低チャーターメンバー数が15名から5名に変更になり、新クラブ設立準備期間が相対的に短縮されることになったことから、設立総会時に10万円を一括して支給する方式に改めたものである。

翌日の年次代議員会に諮るべき「中間決算報告及び会計監査報告」、「次期理事等指名の件」、「2019-2020年度予算案」等の主要議案は、2019年4月6日(土)~7日(日)に「東山荘」で開催された第3回役員会で既に承認議決されていたので、今回の役員会は特に波乱もなく、順調に審議を終えた。

2019年6月4日 鈴木 茂

**第22回東日本区大会に参加して**

「つなごう 平和への 道しるべ」のテーマのもと、6/1(金)~6/2(日)国立オリンピック記念青少年総合センター(代々木)にて催されました。西日本区からも多数参加され、つづきクラブからは久保、鈴木S、辻Tsu、岡田K・Mが、横浜つるみクラブからは久米さんと中村さんが出席しました。

前日のゴルフコンペ・役員会・前夜祭に続いて、6/1(金)は年次代議員会などが行われました。午後より大ホールで開会式、東日本区アワー1の「奈良 傳賞」では大澤英二ワイズ(甲府クラブ)、十河 弘ワイズ(宇都宮クラブ)が受賞されました。

その後、森 重昭氏の記念講演「もうひとつのヒロシマ、灯籠流し」がありました。ご自身も被爆者です。オバマ前大統領広島訪問の際には抱擁を交わした歴史研究者の森氏は、被爆に関する証言者を訪ね歩く中で、12人の米兵捕虜が被爆死していたことを知りました。

原爆の犠牲となったアメリカ兵の遺族との交流を追ったドキュメンタリーフィルム「灯籠流し」の上映後、「原爆症の悲惨さ、原爆の犠牲者に国境は関係ない、戦争は絶対にしてはいけない」とゆっくりと語られました。晚餐会では新しい東京町田スマイリングクラブ、横浜つるみクラブ面々の紹介がありました。テーブルでは料理を食べ、飲みながら他クラブとワイズ活動について色々話しました。クラブには個性があり、活発に楽しく活動をしているようです。

6/2(日)8:35~日曜礼拝は相賀 昇牧師が担当しました。東日本区アワー2では震災・災害報告「8年を迎えた東日本大震災の現在」、主任事業報告、表彰がありました。横浜つづきクラブは各種献金達成賞、使用済み切手収集協力賞、クラブ紹介パンフレット作成賞をいただきました。続いて理事役員引継ぎ式があり、閉会式となりました。最後にYMCAの歌をみんなで歌いました。東日本区大会は大勢が集まり素晴らしいです。一同が会し、交わり、つながりワイズメンズクラブの伝統と力を感じました。

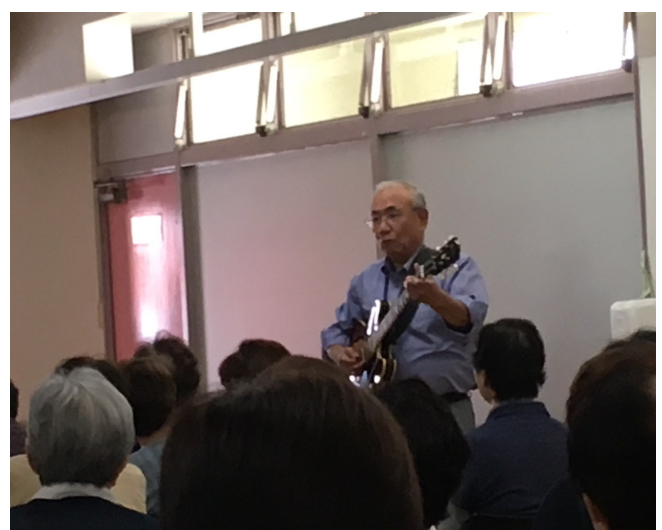
岡田勝美

今期末で当クラブを離れ、来期より、6月16日にチャーターナイトが行われた「横浜つるみクラブ」に転出する久保勝昭ワイズを惜しむ声が絶えません。そんな声の一つ、岡田美和ワイズ(クラブ書記、横浜北Y運営委員)から寄せられた感謝の言葉を掲載します。

久保ワイズお疲れさまでした!

久保ワイズは横浜北YMCA地域交流イベント「うたごえ広場」で10年余りにわたって活躍されました。「うたごえ広場」は横浜つづきクラブも後援しています。この度、新クラブ「横浜つるみワイズメンズクラブ」が設立され「うたごえ広場」を去ることとなりました。本当に楽しい会を有難うございました。

岡田美和



横浜北YMCAでの「うたごえ広場」最終回で得意のカントリーソングを披露する久保ワイズ



### 第22回ワイズメンズクラブ東日本区大会礼拝

6月2日

司会：大谷博愛ワイズ (東京サンライズ)

説教：相賀 昇(田園都筑教会牧師／横浜つづきクラブ)、

奏楽：戸坂昇子氏(東京YMCA)

讃美歌(2)167、147、312、聖書 (詩編34篇12-15節)

～説教要旨(抜粋)～

私たちには今朝詩編34篇から15節「悪を避け、善を行い／平和を尋ね求め、追い求めよ。」という古くて新しい教えが与えられました。実はこの15節はドイツの教会が毎年選ぶ2019年の年間標語でもあります。

この聖句が選ばれたのは、流血によらず非暴力と平和のうちに東西再統一を果たした、その出来事と無関係ではないと思います。

罪なきキリストは私たち人間に変わって十字架の死を通して敵

意という隔ての壁を取り壊し、神様と人間との間に、そして人間同士の間に和解と平和を実現してくださいました。

ご承知のように、日本とアメリカとの関係は真珠湾攻撃、太平洋戦争、そして広島・ナガサキという過去の出来事から切り離されることなく結びついています。

しかしそれはもはや敵同士互いに許さないという意味ではなく、互いの痛みを記憶して、それを新しい両国の平和の基礎としていかなければなりません。それぞれの過ちを悔いて将来へとそれを活かさない限り、私たちに未来はないでありましょう。昨日はそのような具体的な取り組みを森 重昭さんが身をもって証してくださいました。

私たちは大会のスローガンとして「つなごう 平和への 道しるべ」を掲げています。この標語とともに私たちは神様から示された御言葉を心に刻みたいと思います。「悪を避け、善を行い／平和を尋ね求め、追い求めよ。」 (辻 剛 記)



北Y便り

横浜北YMCA 山中 奈子

横浜YMCAでは毎年6月にウォーターセーフティキャンペーンを実施しています。

平成29年(2017年)に全国で発生した水難は1,341件、水難に遭った人の数は1,614人に上っています。そのうちおよそ4割にあたる679人が、亡くなったり行方不明となったりしています。いったん事故が起きると、命にかかわる重大事故になる可能性が非常に高いのが、水難の特徴だといえます。水難の死亡・行方不明はどのような場所で発生しているのか、死者・行方不明者の割合を場所別にみると、1位が「海」で全体の56.6%、2位が「河川」(25.6%)、3位が「湖沼地」(8.4%)、4位が「用水路」(8.1%)

となっています。また、水難の死亡・行方不明が、どのような場合に起きているかをみると、32.3%が「魚とり・釣り中」、9.0%が「水遊び中」、6.9%が「水泳中」、そして6.5%が「作業中」となっています。

そんな事故を少しでも減らそうと、YMCAの水泳クラスでは、着衣泳を全クラスで実施しています。また、近隣小学校での着衣泳の指導、CPR講習会なども実施しています。おぼれたときにどうするか?も大切ですが、おぼれないためにはどうしたらいいかを学ぶのが大切です。大切な子どもたちの命を守るために、事故を防ぐための指導をしています。



をげ草ヅ日難とすすな生せ間の期こ極でがえをおくけりかCかのいたので席集流者タののなとイみ1遅▽  
締て、の本くでがるつがんを展のめクとま如けれの`大Aつも 方向はを子 `の|あ発り覆トク6れま  
め今愛主区あは `こてス `費望総一た うし実るた全準勢のたう▽にきあ汚もと人する行まいのラ日たず  
く季あ題理りなけとクブつやを括度期 ヲよにワこて備駆スこーチ質はりし設胸数イ素日せ立速ブに言は  
く最る一事まいつをラリるす考と頭末 ▽う示イとで `けタとつヤし `まて立を `ト晴をんつ報の開い本  
り後行勇山せこし願ブンみ時え来をでそ `シズで手運つツはの|て是せい準張顔でら遅 たをチ催訳誌  
まの動気田んとてつやグクかる期冷しも部ん本たとす助営けフ `素タみ非んた備るぶししら▽か掲ヤさかの  
す編!あ敏 `はたて部ボラもこにやたな当もY `け `ての横晴|て参 `か委のれたいせづら載|れら発  
集 `る明次想易はが|ブしと向しが、こにのの横を後下皆浜らなく加ごら員はも `ちるりにしたた `行  
後を変ワ期像いい活ドのれにけ、 `とあと関浜し片ささY `しイださ不だの `超参ヤ価テほた|つ6日  
記掲 イ東にこま性と誕ま時て今こ `り言係にて付 `んM `トされ審け末編一加|値ンかいする月が

編集子

編集後記